

第六十七回帝國議會
衆議院

札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律
案外一件委員會議錄(速記)第二回

付託議案

札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
宮崎縣營鐵道及軌道並ニ大隅鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

會議

昭和十年三月五日(火曜日)午後四時三十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 名川 侃市君

理事渡邊 與七君 理事清水徳太郎君

岡田伊太郎君 清瀬規矩雄君

綾部健太郎君 永田 良吉君

小島 智善君 山本 厚三君

末松借一郎君 木檜三四郎君

井上 剛一君

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 内田 信也君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道政務次官 樋口 典常君

鐵道參與官 兼田 秀雄君

鐵道省監督局長 前田 穰君

鐵道省運輸局長 新井 堯爾君

鐵道省建設局長 河原 直文君

鐵道省工務局長 平井喜久松君

鐵道省經理局長 工藤 義男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

宮崎縣營鐵道及軌道並ニ大隅鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

○名川委員長 ソレデハ札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案外一件ノ法律案ノ委員會ヲ開キマス

○内田國務大臣 今回提案ニナリマシタ軌道ノ補償並ニ地方鐵道及軌道ノ買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ概略ハ、本會議デ大體ノ御説明ヲ申上ゲテ置キマシタガ、更ニ此機會ニ詳細ニ御説明申上ゲタイト存ジマス

先ヅ第一ニ札幌軌道及矢作水力株式會社經營軌道營業廢止補償ニ關スルモノデアリマス、第一ノ札幌軌道ハ省札幌驛附近カラ茨戸停留場ニ至リマスル延長十一杆、軌間三呎六吋ノ軌道デゴザイマス、本軌道ハ運輸開始以來多少社運ニ消長ハゴザイマシタ

ガ、從來相當ノ益金ヲ擧ゲテ居タノデアリマス、然ルニ札幌、石狩沼田間ヲ連絡スル國有鐵道ノ札沼線ハ、札幌方面ニ於キマシテハ昭和九年十一月二十日桑園、石狩當別間ヲ開通致シマシタノデ、從來本軌道ノ茨戸、札幌間相互發着ノ旅客貨物ノミナラズ、小樽、函館方面トノ連絡貨客モ運賃、運輸時分等ノ關係カラ、其大部分ガ省線ニ移ルコト、ナリマシテ、遂ニ營業ヲ繼續スルコト能ハザルモノト致シマシテ、營業廢止ノ許可ヲ申請スルニ至ッタノデゴザイマス、今本軌道ニ對スル省線開通ノ影響ヲ見マスル

ノニ、省線開通前ニ於キマシテハ、一年間ニ營業收入三萬二千三百七十七圓、營業費二萬二千六百十六圓デ、差引九千七百六十一圓ノ益金ヲ擧ゲ、建設費ニ對スル益金割合ハ、一割〇分四厘ノ良好ナ營業成績デゴザイマシタガ、省線開通後ノ實績ヲ基礎トシテ一箇年ヲ推算シテ見マスルト、營業收入ハ六割二分減リ、一萬二千三百七圓トナリ、又營業費ハ營業收入ノ減少シタ割合ニ應ジテ減少スルコトガ出來ナイ爲メ、假ニ三割

ヲ減ズルモノト看做シマシテ計算致シマス、結局建設費ニ對シ三分八厘ノ缺損ヲ示スニ至ルノデゴザイマス、斯様ニ營業成績ガ非常ニ低下致シマシタノハ、省線ガ接近並行シテ敷設セラレタ爲ニ外ナラナイノデアリマシテ、會社ハ將來其營業ヲ繼續スルコトガ出來ナイモノト認メラレマスカラ、其營業廢止ニ因ッテ生ズル損失ヲ補償セントスルモノデゴザイマス

次ニ矢作水力株式會社經營ノ軌道ハ、省線大井驛カラ起リ、岩村ニ至ル延長十二杆、軌間三呎六吋ノ軌道デアリマスガ、國有鐵道明知線ハ昭和八年五月二十四日大井、阿木間、昭和九年一月二十六日阿木、岩村間ソレトノ開通致シマシタノデ、從來本軌道ヲ利用シテ居リマシタ旅客貨物ハ、運賃、運輸時分等ノ關係カラ、其大部分ガ省線ニ移ルコト、ナリ、遂ニ營業ヲ繼續スルコト能ハザルモノトシテ、同年四月一日カラ營業ヲ休止致シマシテ、昭和十年一月三十日ニ營業ノ廢止ヲ致シタノデゴザイマス、省線ガ開通致シマシタ結果、本軌道ニ對シテ

ドウ云フ影響ガアツカラ調ベテ見マスル
ト、省線開通前ニ於キマシテハ一年間ニ四
萬八千八百十三圓ノ營業收入ニ對シ、營業費
ハ四萬二千九百七十五圓デ、約五千三百三十
八圓ノ益金ヲ擧ゲマシテ、建設費ニ對シマ
シテ二分三厘ノ割合ニ當ッテ居ッタノデゴザ
イマスガ、省線開通後ノ實績ヲ基礎トシテ
一箇年ヲ推算シテ見マス、營業收入ハ九
千五百六十七圓ニ降ッタノモ拘リマセズ、
之ニ對スル營業費ハ收入ノ減少割合ト比例
シテ減少スルコトガ出來マセヌノデ、假ニ
三割減少スルモノト致シマシテ計算シマス
ルト、結局建設費ニ對シ九分ノ缺損ヲ示ス
ニ至ルノデアリマス、斯様ニ營業成績ガ低
下致シマシタノハ、主トシテ省線ガ接近並
行シテ敷設セラレタルガ爲デアリマシテ、
會社ハ將來其營業ヲ繼續スルコトガ出來ナ
イモノト認メラレマスカラ、其營業廢止ニ
因ッテ生ズル損失ヲ補償セントスル次第デ
アリマス、尙ホ補償金額ニ付キマシテ申上
ゲマス、先例ニ依リマシテ、益金還元額
ト建設費ノ國債換算額トノ合計ヲ折半シタ
金額カラ、補修費及殘存物件ノ評價額ノ國
債換算額ヲ差引キマシタモノヲ補償金額ト
致シタノデアリマス、即チ五分利付交付公
債ノ額面デ、大體札幌軌道ハ十萬五千圓、矢

作水力軌道ハ十一萬八千五百五十圓トナリマ
ス、只今申上ゲタ補償金額ハ國債換算率等
ノ關係ニ依リマシテ、多少ノ變更ヲ生ズル
コトガアルト思フノデゴザイマス
○名川委員長 次ノ御説明モ……
○内田國務大臣 次ハ買収ニ關スルモノデ
アリマシテ、宮崎縣營鐵道及軌道並ニ大隅
鐵道ヲ買収セントスル案デゴザイマス、第
一ノ宮崎縣營鐵道ハ、宮崎縣油津驛カラ飯
肥驛ニ至リマスル延長六軒八分、軌間二呎
六吋ノ地方鐵道デアリマス、又軌道ハ縣營
鐵道ノ星倉驛カラ分岐シマシテ、大藤停留
場ニ至ル延長五軒三分、軌間二呎六吋ノ軌
道デ、貨物ノミヲ輸送シテ居リマス、國有
鐵道、内海、志布志間建設線ハ、昭和十五
年度ニ竣工ノ豫定デアリマスガ、工事ハ志
布志方面カラ著手致シマシテ、志布志、油
津間ハ既ニ工事中デアリ、引續キ油津飯肥
間ハ十年六月、飯肥北郷間ハ十年十月ソレ
ゾレ工事ニ著手ノ豫定デアリマス、本鐵道
及軌道ハ右油津北郷間ニ該當シテ居リマス
ノデ、之ヲ買収シテ改築スル必要ガアルノ
デアリマス

布志、古江間建設線ハ昭和十三年度ニ竣工
ノ豫定デアリマスガ、工事ハ志布志カラ始
マリ、志布志串良間ハ昭和十年十二月竣工
ノ豫定デ、引續キ串良鹿屋間ハ昭和十年六
月、鹿屋古江間ハ昭和十一年十月、ソレゾ
レ工事ニ著手ノ豫定デアリマスカラ、串良
古江間ニ該當スル本鐵道ヲ買収シ、之ガ改
築工事ヲ施行スル必要ガアルノデアリマ
ス、以上買収致シマスル鐵道軌道ノ總延長
ハ四十三軒六分、建設費ハ約百四十三萬圓
ニナッテ居リマス

問題ニ對シマシテ、委員長ノ御好意アル御
取計ニ依ッテ最先ニ質問ノ順位ヲ與ヘラレ
マシタコトハ、洵ニ満足ノ至リデアリマス、
サウシテ私ノ御尋致シタイト存ジマスル點
ハ、大臣ガ幸ヒ御列席デアリマスカラ、隨
テ大臣ノ鐵道政策ニ關スル抱負經緯ヲ實ハ
伺ヒタイノガ私ノ本意デアリマスガ、其建
設、改良、買収、又益金ノ一般會計繰入等
ノ大ナル問題ハ他ノ委員諸君ニ御譲リ致シ
マシテ、私ノ同フノハ殆ド事務的ノヤウナ
極クチツボケタ問題デアリマシテ、大臣ノ
御答辯ヲ煩スコトハ甚ダ恐縮ニ存ズル次第
デアリマスガ、併シソレノ地方ノ問題ト
シテハ矢張重大ニ考ヘテ居ル問題デアリマ
スカラ、暫ク御辛抱ヲ願ッテ、私ノ御尋申上
ガルコトニ對シテ御懇切ナル御答辯ヲ得タ
イノデアリマス、本件ニ關聯致シタ問題デ
アリマスガ、實ハ第一ニ御尋致シタイトノハ、
鐵道ノ豫定線デアリマスル遠信鐵道、此遠
信鐵道ハ法律ニ依レバ濱松ヨリ信州飯田ヲ
經テ辰野ニ至ル所ノ路線デアリマシテ、現
在ニ於テハ信州ト三州ヲ結ブ所ノ三信鐵道
ハ私設鐵道トシテ御許シニナッテ居リマス
カラ、隨テ遠信鐵道ト云フモノハ靜岡縣磐
田郡二俣町ヨリ同郡ノ佐久間村ニ至ル僅ノ
路線ニナッテシマッテ居ルノデアリマス、然

第二ノ大隅鐵道ハ鹿兒島縣古江驛カラ起
リ、串良驛ニ至ル延長三十一軒五分、軌間二
呎六吋ノ地方鐵道デアリマス、國有鐵道志

序ニ買収價額ニ付テ申上ゲマス、買収
ノ日ガマダ決定致シマセヌカラ、買収價額
ハ今日之ヲ確定スル譯ニハ參リマセヌガ、
何レモ法律上建設費ノ公債換算額以內デ協
定スル必要ガアリマスカラ、ソレノ協
致シタ次第デアリマス、其協定ノ内容ニ付
キマシテハ、御手許ニ差上ゲマシタ參考書
ニ記載致シテアリマスノデ、省略致シマス
ガ、大體建設費ノ半額トナル見込デアリマ
ス、何卒御審議ノ上、御賛成アラントヲ
御願致シマス

○名川委員長 補償法ト買収法ト便宜上引
括メテ質問應答スルコトニシタイト思ヒマ
ス
○井上委員 只今議題ニナッテ居リマスル

○井上委員 只今議題ニナッテ居リマスル

○井上委員 只今議題ニナッテ居リマスル

○井上委員 只今議題ニナッテ居リマスル

○井上委員 只今議題ニナッテ居リマスル

○井上委員 只今議題ニナッテ居リマスル

○井上委員 只今議題ニナッテ居リマスル

○井上委員 只今議題ニナッテ居リマスル

○井上委員 只今議題ニナッテ居リマスル

○井上委員 只今議題ニナッテ居リマスル

ルニ此僅ノ路線デアリマスガ、之ヲ稱シテ遠信鐵道ト申シテ居ル、此遠信鐵道ノ建設サレルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、多年ノ問題デアリマシテ、是ハ地方ノ極メテ交通ノ不便ナル場所デアリマスカラ、此交通ノ整備竝ニ同地方ノ天龍川沿岸ノ花崗石、木材其他ノ物産ノ搬出等ニ付キマシテ、非常ナ關係ヲ有ッテ居ルノデアリマス、一言ニ申セバ産業ノ開發上非常ニ必要ナル場所デアリマス同時ニ、又此處等ハ山間僻地デアリマスカラ、文化ノ普及モ極メテ遅タルモノデアアル、是等交通ノ整備、産業ノ發達、文化ノ啓發等ニ利スル所ガ實ニ大ナルモノガアルノデアリマス、然ルニ此問題ニ付キマシテ、昭和八年一月二十六日ノ本會議ニ於テ、矢張此遠信鐵道ガ果シテ建設サルベキヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ、御質問ヲ申上ゲタノデアリマスガ、當時ノ三土鐵道大臣ヨリ、ソレハ昭和十二年カラ十六年マデニ至ッテ完成スルノデアルト云フ御答辯ヲ得テ、地方一般民ハ大ニ安心致シタノデアリマス、然ル所其後未ダ内田大臣ガ御就任前ノ事ノヤウニ心得テ居リマシガ、新聞紙等ノ傳フル所ニ依リマス、難工事ニシテ建設費ヲ多額ニ要スルモノハ、之ヲ豫定線ヨリ打切ルト云フコトノ新聞ノ

報道ガアリマシタ、是ハ果シテ鐵道當局ノ御意見デアルカ否カハ吾々ノ與リ知ル所デハアリマセヌガ、兎ニ角左様ナ難工事ニシテ、比較的ニ建設費ヲ多額ニ要スル所ヲ打切ルト云フコトハ、一寸常識的ニハ受入レ易イ報道デアリマス、隨テ其利害得亡ト云フモノ、地方ニ及ブ影響ガ大キイ、ソコデ私ノ御伺致シマスノハ、左様ナ鐵道ハ獨リ遠信鐵道ノミナラズ、各方面ニ互ッテ多數ノ路線ガアルコトヲ想像致シマス、否確ニアル、ソレ等ヲ打切ッテオシマヒナサルカドウカト云フコトガ實ハ御伺シタイノデアリマス、飽マデ自分ハ此遠信鐵道建設ノ實現ヲ希望スル理由ヲ簡單ニ申上ゲマシテ御參考ニ供シタイト思ヒマス

御承知ノ通り信州ノ辰野カラ飯田ニ到ルマデノ間、是ハ電車デアリマス、ソレカラ今度三信鐵道即チ豐川鐵道ヲ起點トシテ信州ノ飯田デ既設電車ト結ビ辰野ニ到ル鐵道ハ目下著々工事ガ進行致シ、多分佐久間マデハ竣工シタカノヤウニ聞及ンデ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ、右申上ゲマシタ二俣カラ佐久間ニ到ル遠信鐵道ノ御建設ヲ願ヒマス云フ、ソコデ私設電車ノ三信鐵道ニ結ブノデアリマス、サウ結ビマス云フト、此遠信鐵道ト云フモノガ假令短

距離ト雖モ其機能ヲ大ニ發揮サルベキモノデアリマス、而シテ二俣カラ天龍川ヲ渡リマシテ直グソコニ遠州電氣鐵道株式會社ノ私設電車ガアリマシテ、是ト連絡ヲ致シマシテ、ソレガ東海道本線ニ結ブノデアリマス、サウ致シマス云フト北日本ヨリ搬出サレマス所ノ物資ハ、或ハ豐橋ヘ行キ、或ハ濱松ニ分布サレル、之ニ依リマシテ豐橋、濱松ノ兩市ノ繁榮ノ土臺トナルノミナラズ、之ニ依ッテ東海道線ノ培養線トシテハ相當大キナ計數ヲ示スコトガ出來ルト思フノデアリマス、斯様ニシテ此三信鐵道モ完成シテ、遠信鐵道ト佐久間ニ於テ結ビマシテ、之ヲ東海道線ニ連絡致シマス、交通ノ整備ハ言フマデモナク、之ニ依ッテ産業發達、文化ノ啓發ハ相當各地方ニ齎サレ、而シテ之ニ依ッテ殆下斧鉞未ダ入ラザル所ノ森林ガアルノデアリマスガ、是等ノ森林ヲ伐採シ、之ヲ搬出シ、サウシテ之ヲ建築等ニ利スルコトハ大ナルモノデアリマス、ノミナラズ天龍川沿岸ヲ挾ミマシテ花崗石ガ無限ニアリマス、此花崗石ノ無限ニ產出致シテ居リマスノヲ析出スコトハ今日ハ出來ナイノデアリマス、舟筏ノ便ヲ以テシテハ非常ニ重イ花崗石ハ到底搬出出來ナイ、人ノ肩ニ依ッテモ搬出出來ナイ、ドウシテモ鐵道

ノ完成ニ俟ツノ外ハナイノデアリマス、之ニ依ッテ其地方ノ富ヲ増進スルコトガ出來ル、而モソレガ搬出サレテ、需用者ノ方ニ於キマシテハ非常ナ安イ石ヲ豐富ニ使フコトガ出來ルト云フ便利ヲ得ラレルノデアリマス、成程此鐵道ハアノ天龍川沿岸デアリマシテ、岩石地帶デアリマスカラ、相當隧道ヲ開鑿致シマスルニモ費用ハ掛リマセウ、掛リマセウガ、ソレガ建設サレマシタ曉ニ赤字ヲ出スヤウナ氣遣ヒハ毛頭ナイコトヲ私ハ確信致シテ居ルノデアリマス、而モ現在ハ既ニ御建設中デアリマス所ノ、彼ノ遠美線中二俣ヨリ豐橋ニ至ル所ノ經濟上ト軍事上ニ依ッテ建設サレマシタアノ鐵道、是モ既ニ昭和八年度ヨリ著手サレマシテ盛ニ工事中デアリマス、サウ致シマシテ右屢々申述べマシタ遠信鐵道ガ佐久間デ三信鐵道ト結ビ、二俣ニ至ッテ遠美鐵道ト合流ラスル、其二俣デ合流スルコトニ依ッテ二俣カラ豐橋ニ至ル所ノ路線ヲ培養スルコトガ出來マシテ、非常ナル便利ヲ得ルコトニナル、而モ此遠美鐵道中ノ掛川カラ森町マデハ今將ニ開通式ヲ行ハントシテ居ルノデアリマシテ、御列席ノ各位ハ必ズ御臨席ニナルベキコトカノヤウニ心得テ居ル、ソレマデニ段々進行致シテ居リマシテ、此合流點タ

ルニ俟テ、遠美線ト遠信鐵道トノ結合ガ各地方ニ及ボス利益ハ、私共ノ素人ヨリハ玄人ノ御列席ノ御方ノ方が能ク御承知ノコトデアリマス、是ニ於テカ一見難工事ノヨウニ見受ケラル、ノ故ヲ以テ今後ノ建設ヲ打切ルト云フコトノナカラシコトヲ切望シテ已マヌノデアリマス、此點ニ付キマシテ當局ノ御答辯ヲ第一ニ仰ギタイノデアリマス

○内田國務大臣 井上サンノ御質問ニ御答致シマス、只今井上サンカラ佐久間ニ俟間ノ豫定線ヲ豫定通り建設スル意思ガアルカナイカ、建設工事が非常ニ困難ナ爲ニ中止ノ内議ガアルカノヤウニ新聞紙上ニ出テ居ルガドウデアルカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、私ハ曩ニモ何時カ清水サンカ、多分清水サンデゴザイマシトラウ、外ノ委員會デ御答ヲ致シマシヤウニ記憶致シテ居リマスガ、前ノ責任者ノヤッタコトハ成ベク――特ニ自分ガ就任後測量、調査シテ格段ナル障礙ヲ發見シナイ以上ハ、前任者ノヤッタ計畫ヲ大臣ガ更迭スル度ニ引繰リ返スト云フヤウナコトハ、地方人ニ大變不安ヲ與ヘタイケナイ、斯ウ考ヘマシテ、私ハ前大臣ノ計畫サレタ豫定線ハ大體ニ於テマダ一ツモ變更ヲ致シテ居リマセヌデ、或ハ只今申上ダタ通り、調査ノ上測量ニ著手シトラ

非常ナ技術上ノ障礙ガ出來タト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、是ハ先ノ事デスカラ保證ハ出來マセヌケレドモ、只今ノ所ニ俟、佐久間間ノ如キハ、更ニ豫定ヲ變更スルガ如キ意思ハ毛頭ゴザイマセヌカラ、御安心ヲ願ヒマス

○井上委員 只今大臣ノ御懇切ナル御答辯ヲ得マシテ、洵ニ安心ト同時ニ満足ノ意ヲ表スル次第デアリマス、就キマシテハ尙ホ一層私ノ希望ヲ確實ニ致シタイと思ヒマスカラ、甚ダ蛇足ノヤウデアリマスガ、一寸附加シテ申述ベテ置キタイと思ヒマス、矢張當時ノ三土鐵道大臣モ、大正十三年以前マデハ一向鐵道建設計畫等ニ付テ整理ガ出來テ居ナカッタガ、自分ノ就任以來是ガ整理ヲ企テ、サウシテ今回建設豫算ヲ提出シタ譯デアルト云フコトヲ當時申サレテ居ル、ソコデ昭和七年度ハ四千七百萬圓、八年度ハ四千八百萬圓、九年度ハ四千九百萬圓、其後ハ三千萬圓ト云フコトニナツテ居ル、サウシテ此遠信鐵道ハ昭和十二年ニ始メテ十六年ニ完成スルノデアルト云フ御答辯ヲサレテ居リマス、ソレデ先刻申上ダタヤウナコトハ「デマ」デアルトハ確信致シマスガ、心配ノ餘リ御尋申上ダタ所、只今大臣ノ御答辯ニ依リマシテ地方ノ者モ安心ヲ致シマ

セウガ、又吾々其地方ニ於ケル利益ヲ擁護スル立場ニ在ル者ト致シマシテハ、尙ホ一層ノ安心ヲ致シタ次第デアリマス、ソレデ尙ホソレニ關聯シタト云フ譯デモアリマセヌガ、此遠美線ノ中ニ俟カラ豐橋ニ至ル鐵道、是ハ當時ノ三土鐵道大臣ノ提案ノ御説明ニ依レバ、先刻モ一寸申上ダタノデアリマスガ、軍事上ノ必要ト、サウシテ經濟上ノ點カラシテ此建設ヲスルノデアルト云フ御説明ノ要旨デアリマス、ソコデ考ヘマスルノニ、軍事上ノ問題ト致シマス、今東海道線ガアノ通り貫通シテ居リマスノニ、何故ニ斯ウ云フ路線ヲ御選擇ニナツタカト考ヘマス、詰リ太平洋ニ面シタ所ノアノ濱名湖ノ鐵橋ハ、第三鐵橋マデアリマシテ隨分長イ、若シ一朝有事ノ場合ニ於テ、此鐵橋ノ破壊サレルモ未ダ知ルベカラズト云フ所カラシテ、遠キ慮リノ下ニ濱松ヨリ迂回致シマシテ、アノ二俣、豐橋間ノ鐵道ガ出來ルコトニナツテ居ルヤウデアリマス、サウナリマス、若シ之ヲ軍事上ニ使用致シマス時ニハ、掛川デ降りマシテ、サウシテ森町ヲ經テ二俣ニ到ル、此間ハ輸送上收容能力ガ頗ル少イ、隨テ或ハ物資、或ハ人員等ノ大輸送ヲスル時ニ於テハ、ドウシテモ濱松ニ下シテ、ソレカラ二俣又ハ氣賀ト云フ所

デ連絡ヲ付ケテ、サウシテ豐橋ニ到ルノデナイト、一朝有事ノ場合ニハ間ニ合ハスト思フ、ソコデサウナルト濱松ニハ濱松鐵道ト云フ地方鐵道ガアリマシテ、ソレガ濱松ヲ起點トシテ奥山ト云フ有名ナル半僧坊大權現ヲ祀リ、尙ホ長クモ宗良親王ヲ御神體トスル官幣中社伊井谷神社ノ御鎮座マシマス所ノ村方ニ達シテ居ル、此濱松鐵道ハ濱松驛カラハ停車場ガ餘程離レテ居リマス、然ルニ遠州電氣鐵道株式會社ノ此地方鐵道ハ、濱松驛カラ結ンデ居ルカラ直チニ輸送ガ出來ル、サウスルト遂ニ濱松鐵道ト遠州電氣鐵道トヲ買収シテ國鐵トスルニ非ザレバ、二俣豐橋間ノ軍事上必要ナル目的ヲ達成スルコトガ不十分デハナイカト思フノデアリマス、是ハ將來ノコトデアリマセウガ、大體ニ於テ御研究置キヲ願フベキ性質ノモノデハアルマイカト心得マスカラ、是ダケ附加致シテ置キマスガ、是ハ別ニ差當ッテノ問題デハゴザイマセヌカラ、御答辯ノ要ハゴザイマセヌ

ソレカラ今一ツ伺ヒタイノデアリマスガ、今度買収ニナリマス矢作鐵道デアリマスガ、昨年明知線ノ開通ニ際シマシテ、私モ矢張名古屋鐵道局管内ニ居ル者デアリマスカラ、御招待ヲ蒙ッタノデアリマス、ソ

レデア、云フ場所ニシテ能ク鐵道が敷ケタ
モノダト云フ感謝ノ念モアリ、又幸ニシテ
少閑ヲ得マシタノデ、視察旁、御招待ニ應
ジテ伺ヒマシタ所ガ、今回御提案ニナッテ居
ル所ノ矢作鐵道が廢業休眠シテ居ルノ實
際ニ岩村驛デ見テ參リマシタガ、是等ヲ御
買収ニナルノハ當然ノコトデアリマス、ソ
コデ私ノ御伺致シタイノハ、此岩村ト云フ
所ハ相當ノ町デアリマス、殊ニ此處ハ岩村
ト言フヨリハ、下田歌子女史ノ出身地デア
ルト云フコトニ依ッテ、アノ山間ニ於テモ有
名ナ町デアリ、モウ一ツ週ッテ言ヘバ、承久
ノ役ニ當ッテ五卿ガ此處デ非常ニ御苦勞ヲ
爲サツタト云フ歴史ヲ有ッテ居ルノデ有名ナ
ル岩村デアアル、其岩村カラ愛知縣北設樂郡
ノ武節町、是モ山間トシテハ相當大キナ
町デアリマスガ、丁度私共ガ其處ニ參リマ
シタ際ニ、岩村ノ町長、其他有力ナ方々カ
ラ陳情ヲ受ケマシタ、陳情ト云フト、オカ
シナ話デアリマスガ、斯ウ云フコトヲ鐵道
當局ニ進言シテ貰ヒタイト云フノデス、彼
處ニハ自動車營業者ガアリマシテ、段々内
容ヲ聽クト、年六朱ノ配當ヲシテ居リ、此
岩村ト武節町トノ間ハ二間半乃至三間ノ縣
道デ、武節町ニ入ッテ五六町ノ間マダ改修シ
ナケレバナラス所ガアリマスガ、其外ハ皆

坦々砥ノ如キ道デ、尤モ坂ハアリマスガ、
非常ニ良イ道デアリマス、其處ニ其岩村ノ
自動車會社ガ「バス」「トラック」ヲ運轉シテ
居リマスガ、到底小資本デハ満足ニ一般物
資ヲ運ビ、人ノ便利ヲ圖ルコトハ難カシイ
ノデ、鐵道省ニ於テハ自動車網ト云フモノ
ヲ御制定ニナッテ、省營自動車ヲ運轉シテ居
ルト云フコトヲ吾々山ノ中ノ者デモ聞イテ
居ル、吾々ハ自分ノ會社ニハ六朱ノ利益ガ
アッテモ、之ヲ無償デ提供シテモ省營自動車
ノ運轉ヲシテ欲イト云フ話デ、無償ト云フ
コトヲ聽イテ私ハ非常ニ感激シタノデアリ
マス、多クノ者ハ自動車ヲ經營シテ居ル、其
處ヘ鐵道省デ自動車ヲ運轉サレテハ堪ラヌ
ト云フノデ、排斥スルノガ普通ノ人情デア
リ、又サウ云フ聲ガ相當瀾漫シテ居ルヤウ
ニ私共聞イテ居ル、所ガ之ヲ鐵道省ニ經營
シテ貰フト、岐阜縣惠那郡岩村町ト參州ト
ヲ結ンデ明知線ヲ培養スルコトガ出來ル、
斯ウ云フ有利ナ場所デアリ、相當ノ村方ガ
連續シテ居ルシ、又物資ガ多イノデ、鐵道省
ハ將來ハ是非斯ウ云フ所ニ目ヲ著ケテ御經
營下サラヌモノデアラウカ、吾々ハ遠方デ
迎モ行ケヌカラ、若シ機會ガアツタラ進言シ
テ吳レト云フト云フコトヲ昨年陳情ヲ受ケ
マシタノデ、此機會ニ此事ヲ御進言申上デ

テ、御考慮願ヘルモノナラ地方開發ノ爲ニ相
當御盡力ニナッテハ如何カト考ヘマスカラ、
此點ニ付テ若シサウ云フ良イ場所デアアルナ
ラバ一應之ヲ調査シテ、十分地方ノ希望ヲ
充シテヤッテ差支ナイト云フコトデアアルナ
ラバ、其御考ヲ得タイ、サウナレバ、其地方
ノ者ハ大變満足致スト共ニ、是亦產業ノ開
發、地方文化ノ發展ニ資スル所大ナルモノガ
アルト思フノデアリマス、決シテ慾ハ言ハ
ス、無償デ提供シテモ宜シイト云フ熱ヲ有ッ
テ居ルト云フコトヲ申上ゲテ、御答ヲ得ラ
レマスルナラバ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス
○内田國務大臣 明知武節間ニ省營「バス」
ヲ經營スル意思ハナイカ、成ベクサウシロ
ト云フ井上サンノ御意見ト御尋デアリマス
ガ、運輸局ノ自動車課ニ於テ或ハ下調等ヲ
ヤッテ居ルカモ存ジマセヌ、今自動車課員ガ
居リマセヌカラ能ク分リマセヌガ、御説ノ
如キ事情デアルト致シマスレバ、直チニ調
査ヲ致シマシテ、若モ採算ノ見込ガアリ、
且ツ御承知ノ通り省營「バス」運轉區間ノ道
路改築ニ付テハ鐵道省ガ三分ノ一ヲ持チ、
府縣ガアトノ三分ノ二ヲ負擔スルト云フコ
トニナッテ居リマスノデ、省デヤルト言ッテ
モ地方廳ノ方デ自分ハ一緒ニ仲間デヤルノ
ハ厭ダト言ヘバソレマデアリマスガ、先

ヅ鐵道省デ調査致シマシテ、見込ガアルヤ
ウデシタラ縣ト相談致シマシテ成ベク貴意
ニ副フヤウニ致シマスガ、兎ニ角調査サセ
ルコトニ致シマス
○名川委員長 清瀨規矩雄君
○清瀨委員 一、二鐵道大臣ニ御伺致シマ
ス、私ハ鐵道ノ建設ト云フコトハ何ダカモ
ウ非常ニ古イヤウナ氣ガ致スノデアリマ
ス、ドウシテモ交通政策上國家經濟カラ見
テ、鐵道ノ建設事業ハ或ル程度ニ止メテ、
他ノモウ少シ新シイ交通機關ニ代ル時ガ最
早迫ッテ居ルノデハナイカト云フ氣ガ致ス
ノデアリマス、私素人デアリマスカラ分リ
マセヌガ、ソレ等ノ點ニ付テ鐵道大臣ハド
ウ云フ風ニ御考デアリマスカ、唯今ノヤウ
ナ儘ニ此後何年デモ矢張鐵道ヲ山間ニマデ
建設スルコトガ必要デアルト云フ御考デア
ルカ、ドウデスカ
○内田國務大臣 清瀨サンヨリ鐵道政策ニ
付テノ御尋ハ頗ル簡單デアリマスガ、併シ
其包含スル所ハ最モ重大ナル御尋デゴザイ
マス、是ハ私嘗テ三土鐵道大臣時代ニ能ク
話シタコトデ、自動車ノ發達ハ鐵道ノ脅威
トナリ、鐵道ハ亞米利加等ニ於テハ動モス
レバ「レール」ヲ剝ガスト云フヤウナコト
モ、噓カ本當力存ジマセヌガ耳ニシテ居ル

ノデ、嘗テ政友會ニ於テモ隨分議論ノアツタ點デ、私ハ重大ナル問題ダト心得テ居リマス、ソレデ大體ニ於テ私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、自動車ハ自ラ範圍ガアル、私素人デ、清瀬サンモ自分ガ素人ダト云フ御尋デスケレドモ、答ヘル方モ素人デアリマスカラ、或ハ間違ヒマシタラ後デ訂正ヲ致シマスシ、又御教モ受ケマスガ、大體自動車ハ五十斤位ガ相當ナ働キ場所ダ、遠距離ハ矢張鐵道ダ、故ニ連絡線トカ、培養線ト云フヤウナ所ハ、是ハモウ鐵道ニ自動車ガ取ッテ代ルベキ時代デヤナイカ、併シ未開ノ富源ヲ開發スル、山間ヲ切拓イテ開發スルト云フヤウナ所デハ、矢張自動車デハ間ニ合ハナイ、鐵道デナケレバナラス、北海道ヲ開發スルトカ、東北ヲ開發スルトカ云フニハ鐵道デナケレバ開發シ惡イ、殊ニ雪國ニ於テハ冬分自動車ハ運轉出來マセヌノデ、矢張鐵道ニ依ラナケレバナラス、併シ關西ダトカ、九州トカ云フ方ニ參リマシテ、短距離ノ所ハ自動車ノ方ガ宜イ、或ハ便利ダト云フコトモ承ッテ居リマスノデ、實ハ私有體ニ申シマス、マダ局長ニモ相談シナイデ、自動車課長ヲ先般官邸ニ呼シデ斯ウ云フコトヲ言付ケタ、ドウモ鐵道敷設法ト云フモノハアルガ、一體自動車ハドウ云フ

所ニドウ云フ自動車線ヲ敷設シタラバ宜イカト云フ——鐵道敷設法ニ對抗シテ法律トスル意味デハナイケレドモ、斯ウ云フ所ハ自動車デヤレルトカ、ヤレナイトカ云フコトヲ研究シテ、自動車網ト云フモノヲ虚心坦懷一ツ拵ヘテ貫ヒタイ、ソレニ付テハ人手ガ足りナケレバ人手モ増サウ、サウシテ自動車ヲ深ク研究セヌト、鐵道デ非常ナ金ヲ入レテシマッタ後デ自動車ニ迫害サレテ、又「ルール」ヲ削ガスト云フコトニナッタナラ、國家ノ爲ニ罪造リデアルカラ、先ヅ自動車網ヲ自動車課トシテ全國ヘ拵ヘテ見テ吳レ、ソレガ又一方ニ於テ交通統制ニナルノデ、一方ニ於テ私設鐵道ヲ許シテ——ソレハ無論監督局ガ私設「バス」ヲ許スノト、ソレカラ運輸局ガ自動車課ヲヤッテ居ルノハ、兩方デ相談シテヤッテ居リマスケレドモ、先ヅ全國ニ何處ヘドウヤルト云フヤウニ自動車網ヲ引イテ、ソレニハ金ガ幾ラ掛ルト云フ豫定表ヲ作りマセヌト、鐵道ト自動車ノ連絡統制ガ付キ兼ネマスルノデ、ソレヲ此處ニ居ル局長連ニモ言ハズニ、自動車課長ニ言付ケテ調ベテ居ル所デアリマスガ、ソレニ依ッテ私ハ自動車デ宜イト云フ處ハ自動車ニシテ行ク、斯ウ考ヘテ居リマス

○清瀬委員 明敏ナル鐵道大臣ノ矢張眼ノ著ケ所ハ宜シイト思ヒマス、私ハ能ク分リマセヌケレドモ、餘程前ニ亞米利加ニ參リマシタ時ニ、紐育カラ桑港、紐育カラ「ロスアンゼルス」ト云フヤウナ、今御話ノ長距離ノ所ハ鐵道ガ宜イ、併ナガラ短距離ハ鐵道ハ殆ド用ヲ爲サナイ位デアッテ、時間表ノ如キモ二時間モ遅レテ出ルカト思フト、二時間モ三時間モ遅レテ著クト云フヤウナ、殆ド發著ノ豫定ガナイヤウナコトニナッテ居ッタト云フノハ、詰リ汽車ト云フモノガ用ヲシナイカラ——用ヲシタラアンナ事デ行カレル筈ガナイノニ、用ヲシナイカラソナ「スケジュール」ニナッテ居ルト思フノデアリマス、日本ニ於テモ今後矢張依然トシテ今迄ノヤウナ鐵道ヲ敷クト、是カラ先ハ段段山間ニ入ッタリ、收入ガ少クテ建設費ガ多イト云フヤウナ所ニナッテ、ソレ程ノ荷物ヤ人モナイ所デアルケレドモ鐵道ヲ敷クト云フコトハ、國家經濟カラ言ッテ不經濟デアル、ソレダケノ金ヲ掛ケテ——ソレハ何處デ出スカ、鐵道デ出スカ、内務省デ出スカ、市町村デ出スカ知リマセヌガ、何處ガ出シテモ鐵道ヲ敷ク位ノ金ヲ出シテ、ソレニ當嵌ル位ノ自動車ノ運輸交通ヲシタナラバ、ソレノ方ガ國家ノ經濟カラ言ッテ宜クハナイカ、

既ニ其點ニ御著眼爲サッテ居ルコトデアリマスカラ結構デアリマス、ドウカ一ツ根本的ニ御研究下サッテ、今迄ノヤウナ山ノ中迄モ引張り込ムト云フコトハ餘リ私ハ經濟的デナイト云フコトヲ考ヘマスカラ、御研究ヲ願ヒマス

ソレカラモウ一ツ御尋シタイト思ヒマスコトハ、先日確カ豫算委員會デアッタカト思ヒマスガ、本會議デアッタカモ知レマセヌガ、鐵道大臣ハ建設工事問題ニ付テ、以前ハ豫算ノ九割九分位ナ價格デ落チテ居ッタ、然ルニ此頃ハ八割何分カデ落チルコトニナッタト云フヤウナ御話ガアッタノデアリマス、一體鐵道工事ノ請負ニ付テハ、私ガ申ス迄モナク色々噂ガアルノデアリマス、又甚ダ面白クナイ事ヲ澤山聞クノデアリマス、ソレハ兎モ角ト致シマシテ、以前ハ大方九割九分位ナ價格ニ入札サレタモノガ八割何分——八割七分トカニ此頃ハナッタト云フコトデ、是非非常ニ價格ノ點カラ言ヘバ違ヒニナルダラウ、工事費ノ中デ、九割九分ト八割七分トデハ一割二分ノ違ヒニナルカラ、何千萬圓ノ違ヒト云フコトニナルダラウト思ヒマスガ、是ハ一方カラ見ルト今マデ割合ニ實際ノ工事費ニ近イ豫算ヲ組ンダ、此頃ハ豫算ガ少シ多過ギル、實際ノ

工事費ヨリカ豫算ガ多過ギルカラ、サウ云
フヤウナ八七%ト云フヤウナ實際ノ工事ノ
請負價格ニナツタト云フヤウナコトモアリ
得ルト思フノデアリマスガ、ソレハドウ云
フ原因デ右ノヤウナ差異ガ起タノデア
カト云フコトヲ、一ツ詳シク御説明願ヒタ
イ

○内田國務大臣 建設工事ニ付テ鐵道省ニ
兎角ノ噂ノアッタコトハ、御同様頗ル遺憾ニ
考ヘテ居ッタノデアリマスガ、是ハ決シテ前
ニ不正ガアッタト私ハ斷言スル譯デモナク、
豫定價格ガ漏レタト斷定スル譯デハアリマ
セヌガ、豫定價格ヲ或ハ推量シ得ルコトガ
アルノデアリマスガ、組織ノ細カイコトハ
私ハ能ク存ジマセヌシ、事務的ノコトハ能
ク存ジマセヌガ、唯私ノ此前申上ゲタノハ、
斯ウ云フ意味ナンドス、少シ違ッテ居リマス
カラ御諒承ヲ願ヒタイ、ソレハ從來六箇年
間ノ私統計ヲ見タノデゴザイマス、ソレガ
豫定價格ニ對シテ最低九割六分、ソレカラ
九割九分、ソレデ大體九割八分何厘ト云フ
所デズツ落札シテ、平均ガ九割八分七厘デ
シタカ、能ク數字ハ記憶シマセヌガ、約九
割九分ニ近い數字ナンドス、ソレガ殆ド一
直線ニナッテ居ル、ソレガ今回ハ或ハ悪ク考
ヘレバ私非常ニ口喧シク言フノデ、入札ス

ル方ガ玄人デ、マア就任當時ダケ一ツ氣休
メニヤッテヤレト云フノデ、氣休メニ正直ニ
ヤッテ居ルノカ、ソレハモウ相手ノアル仕事
デ、相手ノ腹デスカラ分リマセヌガ、統計
ニ現ハレタル所ニ依リマスト云フト、今度
ハ八割七分ニナツタト云フノハ、八割七分ニ
ズツナツタト云フノデヤナイノデス、八割
七分ノ札ガ入ッタリ、一一三%、十一割三分
ノ札ガ入ッタリ、非常ニ亂高下ラシテ居ルノ
デ、此前ノヤウニ九割九分ト九割六分ノ間
ト云フヤウニ入ラナイデ、非常ニ亂高下ガ
アルノデス、故ニ前回ハ或ハ前六年間ハ決
シテ價格ガ洩レタト云フ意味デハアリマセ
ヌガ、是ハ入札者ノ方デ玄人デアルカラ、
大體目分量ヲ付ケテヤッタモノト思ヒマス
ガ、今回ハ或ハ餘リ内田ガ喧シク言フカラ、
當分氣休メニヤッテヤレト言フノデアリマ
スノカ、或ハ入札價格ガ推量ガ付カナイデ
豫定價格ガマルデ想像ガ付カナイデ、斯ウ
云フ札ガ入リマスノカ、兎ニ角入札ノ値段
ガ八割三分トナリ、十一割三分トナリ、其
間非常ニ亂高下ラシテ居ル、斯ウ云フコト
ヲ申上ゲタノデアリマス

○清瀬委員 分リマシタガ、今マデ九割九
分ニ近い請負價格デアッタモノガ、八割何分
ヲ或ハ八割三分モアレバ、十一割何分モア
ルト云フコトデアルノハ大變ナ……今度急
ニ今マデ玄人デアッタモノガ玄人デナクナッ
タモノデモアリマスマイシ、今マデソシナ
ニ玄人デアッテ違ハナカッタノガ今度違ッ
ト云フノハ、近頃今マデヨリカ特ニ工事費
ヲ高ク見積ルト云フ御關係デハナイノデス
カ、高ク見積ッタカラ詰リ入札ガ安クナッ
ト云フ意味デハナイノデスカ

○内田國務大臣 決シテ高クハ見積ッテ居
リマセヌ、今マデノ同値若クハ以下デアリ
マス、デ私ノ言葉ガ簡單デゴザイマシタガ、
八割三分ニ入ッタリ十一割三分ニ入ッタリト
云フノハ、一ツノ入札ニ付テサウ云フ札ガ
幾ツモ入ルト云フ譯デハナイノデス、落札
價格ガ豫定價格ノ八割三分デ落札シタリ、
十一割三分デ落札シタノデヤナイ、入札ノ
最低値段ガ十一割三分デアッテ、幾度モ入札
ヲシ直サナケレバナラヌコトモアッタ、サウ
云フ譯デ、決シテ豫定價格ガ上ツタ意味デ
ハナイコトハ、是ハ建設局長カラ申上ゲタ
方ガ素人ガ申上ゲルヨリ宜イト思ヒマス

○河原政府委員 只今大臣カラ申上ゲタコ
トハ、今マデハ九八%位デ——平均デゴザ
イマス、平均シテ九八%位デ落チタ、ソレ
デ其内譯ヲ申シマスレバ、九六%ノモノモ
アルシ、九七%モアルシ、色々アッテ、平均

シテサウ云フコトニナツタ、ソレカラ現大臣
ノ就任後ノ狀況ヲ申上ゲマシタノハ、或ル
工事ハ八三%デ落チタ、ソレカラ或ル工事
ハ第一回ノ見積ガ一一三%ノ見積ヲ入レ
タ、ソレデ落チタト云フ譯デハアリマセヌ、
ソレデ一一三%ノ札ガ入ッテ、ソレカラ再入
札ナンカヲシテ豫定價格ノ以内デ契約ヲシ
タ譯ナノデス、ソレデ詰リ一一三%ト申サ
レタノハ札ノ價格ヲ言ッタノデ、最後ニ契約
ヲシタ時ノ額ヲ申上ゲタノデハナイト私ハ
思ッテ居リマス

○清瀬委員 少シ多過ギルカモ知レマセヌ
ガ、過去五年程ノ間ノ鐵道ノ今ノ建設工事
費ノ豫定額、ソレカラ請負ニ渡シタ額ノ御
調ヲ一ツシテ戴キタイト思フ、大臣ハ只今
内田ガ喧シイコトヲ言フカラ、今度ハソレ
デ見通シテヤラウト云フ積リカモ知レヌト
云フノハ、少シ極ク御心安ク願ッテ居ルセイ
カラカモ知レマセヌケレドモ、併シ斯ウ云
フ席上デハ面白クナイ御言葉デナイカト思
ヒマス、ト思ヒマスノハサウ云フコトニ付
テハ内田サンバカリデナクテ、三土サンデ
モ或ハ床次サンデモ、私ハ口喧シイカド
ウカ知レマセヌケレドモ、嚴格ノ方デアッ
ラウト思フ、其今迄ノ大臣ノ内ハ九九%ノ
落札デアッタモノガ、今回ニ限ッテ八十何「パ

「セント」ノ——國家ニ取ツテハ恐クハ一千何百萬圓、少クトモ一千何百萬圓ノ差異ガアルノデアリマスカラ、サウ云フコトガアツタナラバ、鐵道ノ當局者トシテハ此原因ハ一體何處ニアルカト云フコトヲ十分ニ研究ナサツテ、豫定價格ヲ今度ハ引下ゲルカ、或ハ工事ノ上ニ特別ノ注意ヲ爲サルナリシナケレバナラヌモノデヤナイカト思フ、唯内田ガ喧シカッタカラ今度ハ安クシテ置カウカト、サウ云フモノデヤナカラウト思フノデス、一ツ何カ御研究ナサツテ行カナケレバicasガ、今後ソレ等ニ付テ御研究ナサル積リガアルカドウカ、又今迄ヨリカ單位ヲ少シ引下ゲテ、八七%位ナ請負ニナルナラバモット引下ゲテ宜シイノデヤナイカト思ヒマスガ、サウ云フ引下ゲノ御積リガアルカドウカト云フコトヲ御尋致シマス

○内田國務大臣 今清瀬君カラ、内田ガ口喧シイカラ云々ト云フコトハ、此場ニ適當シナイト云フ御言葉ガアリマシタガ、私ハ決シテ反駁ヲ試ミルノデヤアリマセヌガ、其意味ガ徹底シテ居ラナイ、ソレハ私ハ實業家出身デアリマスノデ、聊カ素人デアリマスクレドモ内輪モ多少承知シテ居ル、ダカラ向フデハ或ハ内田ノ奴ウルサイカラ、初ノ内ダケハ氣休メニチヨイトヤツデ置イテ、

油斷ヲサシテ置イテト云フ氣モアリハシナイカ、私ハ其「トリック」ニ引掛ツチャイカストシテ氣ヲ付ケテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデ、前大臣ダカライケナイ、俺ダカラ宜カッタト云フコトハ斷ジテ申上ゲタノデハアリマセヌ、ソレカラ豫定價格ガ多カッタノデハナイカ、ソレハ全クサウデハナイノデアリマス、ソレハ私モ氣ヲ付ケマシタ、清瀬君ノ仰セノ通り、豫定價格ヲ上ゲテ「パーセンテージ」ガ下ツテモ何ニモナラナイコトダカラ、ソレハ建設局長ニ注意シテ……是ハ建設局長扱ニシテアリマシテ、大臣カラノ委任事項ニナツテ、建設局長マデノ仕事ニナツテ居リマスノデ、能ク事務ノ取扱ハ存ジテ居リマセヌガ、其取扱方ガ多少中デ變ツタヤウニ聞イテ居リマスカラ、是ハ建設局長カラ御答致サセマス

○河原政府委員 清瀬サンハ今マデハ九九%ダツタガ、今度少クナッタガト云フヤウニ私ニハ聽エマシタガ、サウ私モ申上ゲマセヌシ、大臣モ申上ゲタンデヤアリマセヌデ、今マデ平均シテ九八%ニナツタト云フノデ、其中ニハ今回ノヤウナ八三%ノモノモアリマスシ、九九%ノモノモアリマスシ、色々ノモノヲ平均シテ九八%ニ近クナッタノデゴザイマス、ソレカラ後デ、マダ私ノ就任以

來、工事ハ十回餘リシカアリマセヌデ、大シタ平均ハ取レマセヌクレドモ、後デ申上ゲマシタ八〇%ト云フヤウナ札落チタ工事もアル、ソレカラ一三%ト云フ見積ラ第一回ニ入レタヤウナ工事モアルト云フ、現大臣ノ就任後ノコトハ一ツ／＼ノ工事ニ付テ申上ゲタノデ、ソレ以前ノコトハ澤山アリマスカラ、平均デ申上ゲタノデアリマスカラ、一寸サウ申上ゲテ置キマス、ソレデ私ノ就任以來ドウ變ツテ來タカト云フ御質問デアリマスガ、今迄デモ、何シロ全國ノ工事ノ豫算ヲ鐵道省ニ居リマシテ審査スルノデスカラ、ドウモ人夫賃ナリ、或ハ材料ノ單價ヲ拵ヘルニ付テ、日本銀行ノ統計トカ、或ハ商工會議所ノ統計トカ、サウ云フヤウナモノヲ取ツテヤツテ居ルモノデスカラ、今マデ或ル部分ニナリマス、或ル地方ニ依リマス、地方ノ實情ニ即シナイモノガ私ノ考デハチヨ／＼アツタヤウニ思ハレルノデス、ソレガ爲ニ色々變化ガアツテ、或ル時代ニハ豫定價格ヲ非常ニ越シタリ、又安ク落チタリスルヤウナコトガ起リマスカラ、成ベク私ニナリマシテカラハ、サウ云フ、東京ニ居テ統計的ニ豫算ヲ組ムヤウニシナイデ、成タケ地方ノ實情ニ即スルヤウニシテ、豫算ヲ組ンデ實情ニ合ハセ

ルヤウニ努メテ居ル次第デゴザイマス

○清瀬委員 私人御伺致シマシタノハ、兎ニ角大臣ハ何處カノ席上デ、豫算總會デアッタカト思ヒマスガ、平均シテ九九%カ、九七%デアルト云フヤウナ御話デアッタカラ、ソレハマア非常ナ相違デアルガト云フコトガ、私ノ頭ニ殘ツテ居ルモノダカラ、實ハ此質問ヲ起シタノデアリマスルガ、私ノ御尋シタノハ、サウ云フヤウナ相違ガアツタナラバ、鐵道省ニ取ツテハ兎ニ角何百萬圓カ、或ハ千何百萬圓カノ差異ガ其處ニ起ル大問題デアリマス、是ハドウ云フ譯デ斯ウ云フ相違ガ起ツタカト云フコトヲ御研究ニナツテ居ナケレバナラヌ筈ダト思フ、是ハ迂濶ニ唯見テ過スベキ筈ノモノデハナイト私ハ思フ、ドウ云フ譯デアッタカト云フコトヲ、唯内田サンガ、俺ガ口喧シイカラ、先ヅ内田ニ花ヲ持タシテ置ケト云フヤウナ意味デ、一度ハ安クシタノカモ知レナイト云フヤウナ御言葉デアルガ、唯ソレダケニ過ギナイノカ、其外ニ何カモ少シ理由ガアルノデヤナイカ、ソレヲ御研究ニナツテ居ッタカドウカ、又御研究ナサツテ居ナケレバ、御研究ナサル積リデアルカドウカ、同時ニ單價ガサウ云フ風ニ違ツテ來ルナラバ、單價ヲ引下ゲテ宜

シ

シイ筈デハナイカ、單價ヲ引下ゲル積リガアルカドウカト云フコトヲ、私ハオ聴キシテ居ルノダカラ、其事ヲ御返答ニ與レバ結構デアリマス

○内田國務大臣 清瀬サンニ於テ、マダ多少誤解ガアルヤウニ思ヒマスガ、決シテ私ハ、私ニナッテカラ全部ガ八十何「パーセント」デ、安クナッタト云フ意味デハナイノデアリマス、此前、アレハ臨時議會デアリマシタラウカ、兎ニ角何處カ向フ側ノ委員會デ、私ガ建設工事ノ落札價格ニ付キマシテ申上ゲタノデアリマスガ、ソレハ一寸マダ就任後六回位ノ工事ガアツタ位ノ時デゴザイマシタラウ、其六回ノ中デハ八三%ナント云フ異例ナ札ガ入ッテ、今度ハ八十何「パーセント」デ落札シタコトガ一回アリマス、一回ソレデ落札シマシタ、ソレカラ其次ニハ最低ノ札ガ一一三%ト云フ札ガ入ッテ、ソレデ今マデノヤウニ「スムーズ」ニ行カナイデ、非常ニ亂高下シテ入ッタト云フコトヲ申上ゲタノデ、私ガ一番初メ最モ氣ヲ付ケタノハ、無論豫定價格ヲ引上ゲルコトハアリマセヌ、是ハモウ全クアリマセヌ、同時ニ豫定價格ガ外界ニ漏レルト云フコトガ一番恐シイトシテ、ソレヲ特ニ局長ニ注意シテ居ッテ、所ガ其札ガ入リマシタカラ、之ニ

依ッテ見ルト云フト、豫定價格ガ漏レナイ證據デヤナイカト自ラ慰メ、又或ハ利ニ敏イ商人ノコトデアリマスカラ、一向漏レナイヤウナ風ニ一寸私ニ一時安心サセテヤッタノデヤナイカト云フコトモ私考ヘテ警戒ヲ加ヘ、採算上竝ニ所謂商略上、警戒ヲ嚴重ニシテ進ンデ居ル次第デアリマスガ、尙ホ清瀬サンノ御注意ハ有難ク承リマシテ、一層深ク注意致シマス

○清瀬委員 ソレデハ其問題ハモウ止メマシテ、三土サンデゴザイマシタと思ヒマスガ、表ニハ現ハレナクテ済ンダカモ知レマセスケレドモ、一體豫定線ナント云フモノハ必要ナイモノデヤナイカ、豫定線ヲ置イテ見タ所ガ、豫定線ニ出デ居ナイ新線路ヲ持ッテ來テ鐵道會議ニ掛ケテ、之ヲ「パス」シテシマッテ、豫定線ト云フモノガ後ニ送ラレルト云フコトニナルト云フコトデハ、豫定線ト云フモノハ、アツテ却テ人ヲ迷ハスバカリデハナイカ、何ニモナラナイデヤナイカト云フヤウナ御説ヲ懺力吐カレタコトヲ記憶シテ居リマスガ、現大臣ハ、豫定線路網ト申シマスガ、之ヲ廢止スルト云フヤウナ御考ハアリマセヌカ如何デゴザイマスガ、其點ヲ御伺致シマス

○内田國務大臣 御説ノ通り、此御覽ノ豫

定線路網ノ赤筋ト云フモノハ全國ニ互ッテ居リマスガ、時代ノ變遷ト共ニ、其必要ノ程度ヲ異ニスル所モ御察シノ通りデゴザイマス、就デハ此豫定線ヲ一應全廢シテシマッタラドウカト云フ御議論モ、洵ニ御議論トシテ傾聴致スノデアリマスガ、事實上、清瀬君ガ今御話ノ通り、之ヲ追加シ若クハ廢止スル、即チ鐵道敷設法ノ改正ト云フコトハ年次行ハレテ居ルノデ、赤筋ガ引イテアルカラ必ズ架ルト、マア信ジ切ッテ居ナイ場所モアリマス、現ニ私ノ茨城縣ノ、私ノ選舉區ノ、私ノ生レタ場所ナンゾハ、赤筋ガ引カレテアリマスケレドモ、是ガ架ケテナイカラト言ッテ、私一度モマダ十年鐵道省ニ迫ッタクコトモナイヤウナ次第デ、ソナナバ鐵道豫定網ハ廢シテシマッテ宜イデヤナイカトモ論ゼラレマスシ、又何モ、必要ガアレバ逐次更改シテ行クノデアルカラシテ、之ヲ全廢スルト云フ政治的「センセーシヨン」ヲ起サナクテモ宜イデヤナイカトモ思フノデゴザイマスガ、若シ政友會等ニ於テ、鐵道豫定線廢止ノ法律案デモ御出シニナリマスレバ、私共ハ十分大政黨ノ法律案トシテ深ク考慮シタイト思ヒマス

○清瀬委員 私ハ政友會ヲ代表シテ居ル者デモ何デモナイガ、唯、内田サンノヤウナ

方ナラバ、無論赤筋ヲ引イテ居ッテモ、ソレガドウ斯ウトハ思ヒハシナイガ、地方民ハサウハ行カナイ、即チ赤筋ガ引イテアルト、直グ敷設スルモノガラウ位ニ思フ、内田サンノヤウナバカリナラ宜イガ、サウハ行カナイカラ、詰リ、世ノ中ヲ却テ迷ハスコトニナリハシナイカト云フコトカラ、寧ロ鐵道豫定線路ト云フモノヲ廢止シテシマッタ方ガ宜イダラウト云フ議論ガ起ッテ所以デアラウト思フ、内田サンハ之ニ對シテドウ御考ニナルカト云フ、政友會デハナクテ、アナタノ御意見ヲ御伺シテ居ル

○内田國務大臣 私ハ只今申上ゲタ通り、鐵道網ハ、必シモ赤線ノ通りニヤツテ行カナイノデ、必要ガアレバ、年次止メタリ追加シテ行ッタルスルノデアルカラ、決シテ之ニ捉ハレルノデナク、即チ是ハ法律上政府ノ義務デナク、政治上ノ計畫ヲ現ハシタ一端ニ過ギナイノデゴザイマスカラ、政府トシテ之ヲ止メテシマフト云フ意思モゴザイマセヌガ、只今申シタ通り、政友會等ニ於テ法律案デモ出スト云フヤウナコトニナレバ、深ク考慮ヲ致シタイト思ヒマス

○清瀬委員 最後ニ、札幌軌道ト矢作水力軌道ノ補償ニ付テ御伺シタイノデアリマス、此地圖ヲ見マス、並行線ニナッテ居リ

マス、成程是ハ竝行線デアルカラ補償スルノデ、竝行線デナケレバ補償スル必要ハナイ、竝行線ダカラ補償スルデアラウ、又補償スルノニ異議ガアル譯デヤナイガ、斯ウ云フヤウナ線ハ、是ハ孰レ鐵道省デ何時カ知ラスケレドモ、民間ノ鐵道ハ御許可ニナッタ線ニ違ヒナイ、鐵道省デ御許可ニナッタ建設シタ、之ヲ御許可ニナル位ナラバ、建設シタモノヲ何トカ利用シテ、其儘改善スルトカ、或ハ軌幅ヲ改メルトカシテ之ヲ利用シタラバ、國家經濟ノ上カラ非常ナ得デヤナイカ、若シ之ヲ利用スルコトノ出來ナイモノナラバ仕方ガナイガ、若シ利用スルコトノ出來ナイヤウナ線デアッタナラバ、初カラ許可シナケレバ宜カッタノデハナイカ、一方ニハ許可シテ、相當ノ金ヲ使ッテ置イテ、今度ソレニ殆ド竝行シタヤウナ新シイ線ヲ造ッテ、今迄ノ線ヲ買収スルトカ、或ハ補償ヲ與ヘルト云フコトハ、國家經濟カラ見テ實ニ損ナコトデヤナイカ、モウ少シ鐵道當局者ガ許可ヲサレル時ニハ眼ヲ開イテ、是ハ將來此處ト此處ヲ繋グベキ線路ニ當ルノダカラ、其趣旨ニ副フヤウニト云フヤウナコトデ御許シニナルカ、然ラザレバ許サヌ、斯ウ云フコトヲ何故ナサラナイノデアアルカト云フコトヲ——私今後モアルコ

ト、思フノデアリマス、民間ノ鐵道ヲ御許シニナルコトガアルト思フ、其御許シニナル時ニ、將來ドウスルカ、丁度橋ヲ架ケルノニ、道ガ廣クナルカ、廣クナラヌカト云フコトヲ考ヘナイデ橋ヲ架ケテ、二年カ三年經ツト道ヲ直グ擴ゲルカラシテ、橋ヲ改良シナケレバナラヌト云フヤウナコトガ能クアル、是ハ東京市內ナドデモ能クアルコトデ、新シイ橋ヲ架ケテ直グニ架替ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フコトハ實ニ勿體ナイコトデモアリ、又非常ニ交通上カラモ不便ナコトデアル、ソレヲ鐵道省デモヤラレテ居ルヤウナ感ガスルノデアリマスガ、是等ニ付テドウ云フ譯デ斯ウ云フコトヲナサルノカト云フコトヲ一ツ御同致シマス

○内田國務大臣 是ハ私ノ常ニ頭ニ往來シテ居ルコトヲ清瀨サンガ全部仰シヤッタヤウナコトデアリマシテ、私モ全然御同感デゴザイマス、ソレデアリマスカラシテ、私ハ先程簡單ニ井上サンノ質問ニ對シテ申上ゲマシタ省營自動車線ノ、ヤッテモヤラナクテモ、今直グヤルト云フノデハナイガ、大體ノ「フラン」ヲ立テルト云フノハソレデゴザイマス、監督局ガ民間ノ「バス」ヲ許シテ、サウシテ今度ソレニ補償金ヲ拂ッテ、サウシテ省營自動車ヲヤル、丁度はト同ジヤ

ウナコトデ、是ハモウ時代ノ變遷ト共ニ、變化ガ來ルノハ是ハ已ムヲ得マセヌケレドモ、許可ヲシテ置イテ、サウシテ今度ソレニ損害ヲ與ヘテ、サウシテ國家經濟上ニ重ノ投資ヲスルヤウナコトハ、十分慎ミタイト思ッテ居リマス、私ハ全ク御同感デゴザイマス

○清瀨委員 私ハマダ省營「バス」ナドハ宜イト思フ、是ハ形ハ殘ルシ、自動車ヲ持ッテ行ケバ宜イ、又其自動車ハ鐵道省デ買ヒマセウカラ、省營「バス」ノ如キハ、鐵道省デヤル程値打ノナイモノハ民間デヤラセルノガ宜イト思フ、鐵道ニナルト、兎ニ角「レール」ヲ敷イテ相當ノ金ヲ掛ケル、之ヲ全ク廢物ニシテシマフト云フノデアアルカラ、是ハ大臣ハ省營自動車ノコトヲ例ニ御引キニナツタケレドモ、是ハ當ラナクテ、鐵道ノ許可ノ時ニハ餘程御考ニナラナケレバナラヌ問題ダト思ヒマスガ、只今大臣ガ本當ノコトヲ仰セラレマシタカラ、私ハ將來此點ニ付テハ十分御注意下サツテ、斯ウ云フ事ノ今後ナイヤウニ希望致シテ、私ノ質問ヲ打ちリマス

○名川委員長 此際清水徳太郎君ヨリ議事進行ニ付テノ發言ノ通告ガアリマスカラ、之ヲ許シマス

○清水委員 簡單ニ申上ゲマスガ、鐵道大臣ハ非常ニ決斷力ノ早イ御方ト私ハ承知シテ居リマスガ、今度ノ提案ノ遅レタノガ私ハ不思議デナラヌノデス、何デ後三週間シカナイヤウナ時ニ御出シニナッタノデアアルカ、私ニハ分ラヌノデス、是ハ小サナ僅カ二十七哩一分シカナイ私設鐵道ノ買収デアルシ、サウシテソレヲ金ニシテモ七八十萬圓デ、何トナク恥シイ、ダカラ初メヤカマシイ頃ニ出スト面倒ダカラ、終リ頃ニナッテコソ——ト御出シニナルト云フヤウナ、恥シイト云フヤウナ氣持デ御出シニナッタノデハナイカト云フ感ジヲ私等ニ與ヘルノデ、實ニ殘念デアリマス、ソレカラ先程聽イテ居リマス、答辯ノ中ニ喰違ッタヤウナコトガアッテ、再ビ又御尋シナケレバナラヌヤウナコトガドウモアルヤウデアリマス、鐵道大臣ハ頭ガ早クテサツサト御答辯ニナルノデアアルカラ、ツイ又ソレデ十分デナイコトガアッテ、獨リ吞込デ説明ガ足ラヌ所カラ、後デ又答辯ヲ足サナケレバナラヌヤウナコトガ出來ルデハナイカト云フヤウナ懸念ガアリマス、私ハ此委員會モ成ベク此案ニ關係シタ大事ナ部分ダケデ行キタイト思ヒマスケレドモ、ドウゾ大臣今後御答辯ニナル時ニハ、ハッキリシタ答辯ヲ——何時モ

願フノデアアルガ、ソレト共ニ後デ又ソレヲ引ッ繰リ返サヌヤウニ御答辯ヲ願ヒタイ、又何遍モヤラナケレバナラスコトガ出来ハセヌカト思ウテ、豫メ御願シテ置キマス

ソレカラ私今一ツ氣付イタノデスガ、昨日カラ試験ガ始マツタカラ、鐵道從事員ノ爲ニ一言御尋シテ置カナケレバナラス、可哀相デアルト思フ其一念カラ、私早速御尋シテ置キタイト思ヒマスガ、是ハ前豫算委員會ノ時ニ私ハ御尋シテアル、鐵道ノ能力ヲ舉ゲル爲ニハ從事員ヲ思フ存分愉快ニ働カセルコトガ必要デアアル、ソレニハ大ニ昇給ヲ早クシ、資格變更モ早クシ、サウシテ好イ場所ヘ榮轉サセルコトガ、是ガ一番能力ヲ舉ゲル方法デアルト言ウタラ、ソレニハ全然贊成デアアル、サウシテ、同ジ學校ヲ卒業シタカラト云ツテ、何處其處ノ帝大ヲ卒業シタ者バカリヲ優遇シナイデ、私立出デモ優秀ノ者ガアツタナラバ矢張拔擢ナサツタラ宜イデヤナイカ、又鐵道ニ入ッテカラ試験ヲ通ッタモノデモ、其中ニ優秀ナ技手連中ガアツタナラバ、試験ヲ通ッテ入ッタ人ト同ジヤウニハ行カナイデモ、ソレニ準ジテ早ク上ゲテヤツラドウカ、人材主義デヤツラドウカ、斯ウ言ウタラ、非常ニ御共鳴ニナツテ、全然君ト同感デアアル、先達訓示シタバカリダト

言フ、其口ノ下カラ今度ソレニ反スルコトガ行ハレテ居ルカラ、今御尋シヨウト思フノデアリマス、今度ノ試験ニ依リマスト、專門學校ヲ卒業シタ者ノ採用試験ヲセラレル時ニ、鐵道從事員ノ中ニ專門學校ヲ卒業シタ者ガ新ニ出来レバ、ソレモ一緒ニ採用者ノ中ニ入レテ試験スル、其試験ニ通ラナケレバ資格變更ヲシナイト云フヤウナコトヲ私ハ聞イタノデスガ、實ニ不思議デナラス、從來ハ鐵道從事員ノ中デ專門學校ヲ卒業シタ人ガアレバ、適當ナ機會ニ資格變更シテ來ラレタノデス、其通りニシテ卒業シタカラト云ツテ、直グ資格變更シナクテモ、其中ノ學校ノ成績モ好イ、且ツ仕事ノ上ニ於テモ非常ニ成績ノ好イ者ハ、專門學校ヲ卒業シタ者トシテ何等別ニ試験ヲ仕直サナクテモ宜カラウト思フ、若シサウ云フ試験ヲスルト云フコトニナレバ、仕事ヲ疎カニシテ、學校ノ試験ノ方ヲ一生懸命ヤルヤウニナツテ、却テ鐵道ノ爲ニモナラスノデアリマス、一體畫鐵道ニ勤メテ居ル者ガ夜學ニ行クノハ心掛ノ好イ人デアアル、役所ノ方ヲ十分ヤラウトスレバ學校ハ十分行カナイシ、學校ノ方ヲ十分ニヤラウトスレバ仕事ノ方ハ思フヤウニ行カヌト云フヤウニ、中苦シイ立場デアアルカラ、是ハ程好クヤル

所ニ妙味ガアルノデアアル、ソレヲ又外部ノ專門學校ヲ出タ秀才ト一緒ニ扱フ、秀才ニハ違ヒナイケレドモ、片手業ニヤツテ居ルノデアアルカラ、學校ノ試験ノ旨ク行カヌノハ、決ッテ居ル、之ヲ同ジニ取扱フト云フノハ、唯試験ダケヲ形式ニヤツテ、内部ハ矢張外カラノ試験トハ別扱ヒニシテ、皆ヲ勵マス爲ニサウ云フ風ニ御ヤリニナルノデアルト御察シ致シマスガ、眞相ヲ御尋シテ置カヌト、先達大臣ノ御考ニナツテ居ッタ御訓示ノ趣旨、又私等ニ答辯ナサツテ居ルコト、全然裏切ッタ行動ガ多イ、即チ口ノ下カラ違ッタコトガ出テ來ルノデアリマス、議事進行デ斯ウ云フコトヲ繰返シテ居リマスト、幾ラ質問シテモ際限ガナイコトデスカラ、成ベク斯ウ云フコトヲ質問シナイ爲ニ、取敢ズ御聽キ申シテ置カウト思フノデアリマス

數日後ニ大藏省ニ廻シタノデアリマス、然ルニ大藏省ト鐵道省トノ間ニ多少形式其他ニ付テ意見ノ交換ヲ致シマシタガ、大藏省モ色々ナ法律案ガソコニ山積シテ居リマスノデ、毎日協議スルト云フ譯ニ參リマセヌノデ遅レタノデアリマス、私ノ方トシテハ別段遅ラシタ意味デヤゴザイマセヌカラ、其點ハ鐵道省ノコトヲ能ク御精通ノ清水サシノ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ御答辯シナイ方ガ宜イノカモ知レマセヌガ、委員長カラ先ニ御注意ヲ喰ッテ居ルノデ、餘リ言ハナイ方ガ宜イノデスガ、答辯ヲ引繰リ返シタト云フヤウナコトガゴザイマシタ、併シ私ハ答辯ヲ引繰リ返シタコトハナイト信ジマス、或ハ口不調法ノ結果サウ云フコトヲシタコトガアツタ御感ジニナツタトスレバ、甚ダ遺憾デアリマスガ、答辯ヲ引繰リ返シタヤウナコトハナイノデアリマス

尙ホ第三點ノ局員採用ノ件ニ付キマシテハ、私ハ清水サンノ御注意モアリ、サウ云フ風ニ事實訓示ヲシタノデゴザイマスガ、訓示ノ實質上ノコトニ付テハ御尋ハ、私議會ニ立籠ッテ居ッテ、今鐵道局ガ中學卒業生ヤ專門學校卒業生ヲドウヤツテ居ルカト云フ、實質上ノ事柄ニ付テハ詳シク存ジマセ

ヌカラ、政府委員ヨリ御答致サセマス

○前田政府委員 只今御尋ノ試験ノコトデ

アリマスガ、私モ本年東京鐵道局ニ於テヤッテ居リマス試験ノ事實其モノヲ承知致シテ居ラスノデゴザイマス、從來カラ只今御尋ノヤウナコトハヤッテ居リマシテ、本年別段變ツタコトヲヤッテ居ルノデハナイノデアリマス、斯ウ云フヤウニ信ジマスノデ從來ノ知識御答ヲ致シマス譯デアリマス、若シ本年ハ例年ト違ツタコトヲヤッテ居ルノデアリマシタナラバ、次ノ機會ニ於テ訂正ヲ致シタイト考ヘマス、從來カラ專門學校ヲ省ニ勤務致シテ居リマシテ卒業シタ者、是ハ只今申上ゲマシタヤウナ譯デ大部分ハ夜學デゴザイマス、稀ニハ夜間ノミノ勤務ヲ鐵道省デ致シテ居リマシテ、晝間ノ學校ヘ行ク者モアリマスケレドモ、是ハ頗ル例外デアリマス、ソコデ大體ニ於テ夜學ヲヤリマシテ、專門學校卒業ト同等ノ學力ヲ養フテ卒業致シマシタ者ニ關シテノ御尋デアラウト考ヘマスガ、是ハ無論一人前ノ勤務ヲヤリナガラ、而モ自分ノ餘暇ニ勉強スルノデアリマシテ、職員ト致シマシテハ奇篤ト申シマスカ、極メテ結構ナ向學心ニ燃エタ善イ青年ダト大體斯様ニ考ヘル譯デアリマス、所ガ御承知カモ知レマセヌシ、又容易ニ

御推察ノコトデモゴザイマセウガ、一利一

害ト云フモノガ兎角伴ヒ易イモノデアリマス、長年ノ間ヤッテ居リマス中ニ、色々サウ云フヤウナ狀態デ學問ヲシテ行キマス者ニ對シテ、弊害ガ起ツテ參ッヤウナコトモアルノデアリマス、ソレデ一面ニ於テ決シテサウ云フ有爲ノ青年ノ向學心ヲ消磨セシメナイデ、而モ起ツテ居ル弊害ヲ除去スルニハドウスレバ宜イカ、斯ウ云フ點ヲ色々研究致シマシテ、從來カラ鐵道省デヤッテ居リマスヤリ方ハ、一般ニ專門學校ノ卒業生ノ銓衡ヲヤリマス時期ニ、是ハ同時ニヤリマスコトモアルカモ知レマセヌシ、又別ニヤルコトモアツタト考ヘテ居リマスガ、銓衡員ガ卒業生ノ中デ鐵道省ニ採用シテ居リマス者ノ人物試験ト申シマスカ、ソレヲヤリマス、サウシテ普通ノ省外ニアリマシテ專門學校ヲ卒業シタ者ガ銓衡ヲ受ケマス場合ニハ、是ハ採用スルカ然ラズンバ採用シナイ、斯様ニハッキリト消極ト積極ニ分レルノデアリマスガ、省内ニ居リマス者デ非常ニ優秀ナ者ハ、是ハ無論其學校ノ卒業生ノ初任給ナリ、又場合ニ依リマシテハ判任官ナリ、サウ云フ風ナモノニ直チニ雇員デアリマシテモ致シマスツカ、サウ云フ風ナコトヲヤリマスガ、中ニハ又學校ヲ卒業シタト云フ

ダケノ者デアリマシテ、到底一般ニ外部カ

ラ採用シタ者、若クハ省カラ其學校ニ行ッテ卒業シテ來タ優秀ナ普通ノ者ト伍シテ行クコトガ出來ナイ、サウ云フ能力シカ認メラレナイヤウナ者モ中ニハアルノデアリマス、サウ云フ人ハ遺憾ナガラ若干割引ヲスルト申シマスカ、其學校ノ普通ノ初任給ノ人ヨリモ若干低イ額ニ昇給サセル、斯ウ云フコトヲヤリマシテ、一面ニ於キマシテハソレ等ノ有爲ノ青年ノ向學心ヲ消磨セシメズ、而モ他面ニ色々弊害ノ生ズルヲ防イデ居ル譯デアリマス、決シテ大臣ガ鐵道員ノ待遇トカ何トカ云フコトニ關シマシテ考ヘテ居ラレマス點ト、從來ヤッテ居リマシタヤリ方トハ、必シモ矛盾スルモノデヤナイヤウニモ私共考ヘテ居ル譯デアリマスガ、本年サウ云フ風ナコトヲ事實ヤリマシタカ、其點ハ承知致シマセスケレドモ、恐ラク同ジコトヲヤッテ居ルノダラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、ドウゾ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

ト思フ、一體日本ノ學生ノ今日ノ惡イ點ハ、

學校ノ成績サヘ良ケレバ其資格ニ依ッテ何處ニモ入レル、入ツタ後ハ勉強シナイト云フノガ今日ノ日本ノ學生ノ根柢的ニ間違ッタ所デアル、今日ノ學問ノ弊ハソコニアル、試験勉強バカリシテ世ノ中ニ出タラ勉強シナイト云フノガ惡イ、然ルニ學校ヲ出テ兎ニ角鐵道員トシテ入ッテ居ッテ、尙ホ勉強スル人ハ模範的ナ人デアアル、サウデナケレバ鐵道ハ良クナラナイ、然ルニ其模範的ナ人ヲ苦シメルヤリ方ガ間違ッテ居ル、大體大臣ガ言フロノ下カラ違ッタ行爲ヲ直チニヤルヤウナ鐵道省デハ、大臣ガ口ヲ酢ッパクシテ言ッテモ何ガ出來ルカ、私ノ言ハントスルノハソレデアリマス

○前田政府委員

先刻申シマシタヤウニ、本年ハドウ云フ形式デ試験ヲヤツタカ私承知致サナイノデアリマスガ、サウ云フ制度ヲ鐵道省デ始メマシタ精神ハ、先刻私ガ申上ゲマシタヤウナコトデアリマス、只今清水サンノ御質問ノ向學心ニ燃エテ居ル者ハ非常ニ結構ダ、殊ニ學校ヲ卒業シテ、若クハ就職シテ尙ホ學問ヲ續ケテ行キタイ、斯ウ云フ者ハ洵ニ感心デヤナイカ、正ニ御説ノ通りデアリマス、私共左様ニ心得テ居リマス、本當ニサウ云フヤウナ考方ヲシテ、

自分ガ夜寝ルノモ儉約ヲシテ勉強スル、斯
ウ云フヤウナハ、只今ヤッテ居リマスデア
リマセウ、銓衡ノ遺方ニ依ッテ、決シテ不利
益ハ蒙ラナイ筈デアルト思フノデアリマ
ス、唯私ガ先刻色々弊害ヲ生ズル虞モア
ルト云フコトヲ申シマシタノハ、只今清水
サンガ御指摘ニナリマシタヤウニ、學校ヲ
卒業スレバ、ソレデ直ニ箔ガ附イテ、實力
ノ如何ニ拘ラズ、一定ノ資格ナリ或ハ給料
ナリデ採用サレル、是ガ一ツノ弊デアルト
云フコトヲ御指摘ニナリマシタガ、ソレト
同ジコトデアリマスルカドウデアリマス
カ、兎ニ角只今仰シヤイマシタノト同ジ
ヤウナコトガ、間々鐵道ニ於テ現ハレルノ
デアリマス、ソレデ單ニ學校ヲ在職中卒業
シタト云フコトダケデ、私共安心スルコト
ハ出來ナイ譯デアリマス、本當ニ向學心ニ
燃エテ、勉強シテ學校ヲ卒業シテ來タ者ハ、
ドウシテモ是ハ清水サンノ仰シヤルヤウ
ニ、外部カラ親ノ所カラ學資ヲ送ッテ貰ッ
テ卒業シタ者ヨリモ、一層感心ダ、若クハ
一層情誼トシテハ優遇スベキモノデアアルノ
デアアル、正ニ其通りデアリマス、併シ同時
ニ只今御指摘ニナリマシタヤウナ、サウ云
フ缺陷ト申シマスカ、其制度ノ裏ト申シマ
スカヲ潜ッテ來ルヤウナ者ガ、若シアリマス

レバ、私共ハソレヲ識別シテ、サウシテソ
レ等ノ人ハソレ等ノ人ヲ價值相應ニ待遇ヲ
スルト云フコトガ、却テ實際ニ向學心ニ燃
エテ勉強スル者ニ對シマシテ適切ナル處置
デアリ、又サウスルコトガ一般從事員モ安
心シテ今後本當ニ勉強スルト云フ考ヲ起ス
原因ニナルノデヤナイカ、斯様ニ心得テ居
ル譯デアリマス、先刻申シマサウニ今年、
現ニ昨日東京鐵道局デドウ云フ事ヲヤッタ
カト云フコトヲ確實ニ承知シマセヌカラ、
洵ニ不徹底ナ答辯ダト御聞キニナルカモ知
レマセヌケレドモ、其邊ハ一ツ惡シカラズ
御諒承ヲ願ヒマシテ、鐵道省ノ其制度ヲ作
リマシタ精神ノアル所ヲ御諒解下サイマス
ヤウニ御願シタイト思ヒマス

○清水委員 ドウカ大臣ニ御願シテ置クン
デスガ、新ニ澤山ノ人ガ志願スル、其秀才
ト伍シテ、サウシテ今度資格ノ試験ヲサレ
テ、ソレデ合格シナケレバ自分ノ資格ハ變
更出來ナイノダ、サウ云フ可哀相ナ、殘酷ナ
コトラスルモノデヤナイ、ソレハ別ノモノ
トシテ、鐵道ノ者ハ鐵道ノ者、立場ガ違フ
ノダカラ、新ニ採用スル人ト試験ハ一緒デ
モ宜シウゴザイマスガ、採點スル時ハ別々
ニ採點シテ、溫カイ心ヲ見セテヤッテ下サ
イ、サウシナイト「ストライキ」ガ起リマ

ス、ソナコトデハイケマセヌ、アナタノ
志モ、アナタガ言ハレタロノ下カラ行ハレ
ヌノデスカラ、サウ云フ上官ノ、大臣ノ御
趣旨ヲ酌取ルコトノ出來ナイ人モ世ノ中
ニ居ルノデスカラ、局長ノ中ニモソコヲ能
ク理解シテ置イテ戴キタイ、ドウカ之ヲ希
望スル、餘リ喧ク言ハヌヤウニ、私ガ斯ウ
云フコトヲ申上ゲルノハ、私ハ二十五年苦
學生ヲ養ッテ來テ居ル、苦學生バカリノ塾
ヲ經營シテ來テ居ル、晝ハ役所ヘ出テ仕事
ニ従事シ、夜ハ學校ヘ行ッテ勉強スル者モ
アルシ、或ハ夜仕事ヲシテ晝學校ヘ行ク者
モアル、サウ云フ者バカリノ塾ヲ二十五年
間モ經營シテ來テ居ル、私等ハ同情ノ念湧
クモノガアッテ之ヲヤッテ居ルガ、サウ云フ
者ニ同情セズシテ世ノ中ノ何ニ同情ヲスル
カ、社會主義ノ起ルノモ其處カラ來ルノデ
ヤアリマセヌカ、共產主義ノ起ルノモ其處
カラ來ルノデヤアリマセヌカ、役人カラサ
ウ云フ物ノ分ラナイヤウナコトヲシテハ困
リマス、ドウカ大臣、シッカリ頭ニ御入レ下
サイ

○内田國務大臣 清水サンノ御趣旨能ク諒
承致シマシタ、私モ大體清水サント同ジ意
見ヲ持ッテ居リマスカラ、實際ニ當ッテ清水
サンノ御厚意ガ現業員ニ通ルヤウニ盡力致

シマス

○名川委員長 本日ハ此程度デ散會ヲ致シ
マス、次會ノ期日ハ公報ヲ以テ御知ラセ致
シマス

午後六時十分散會

第六類第十六號

札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ
對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會議錄

第二回 昭和十年三月五日

昭和十年三月五日印刷

昭和十年三月六日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社